

産業医学関連研修会の Web 配信に関する検討		
ガイドラインステップ	キーワード (6 つ以内)	・遠隔地研修会 ・Web コンテンツ
15		・テレビ会議システム ・インターネット配信
改善・取組みの背景と課題	<p>全国の都道府県産業保健推進センターでは、数多くの有意義な産業保健に関する研修会が提供されている。しかし、対象者である産業医、産業看護職あるいは安全衛生管理者・推進者等は本来業務に忙しく、また遠隔地で開催される場合受講できないことも多い。今回、より多くの対象者が受講可能になるように、インターネットを介した研修会の Web 配信の方法およびテレビ会議システムについて検討した。</p>	
改善・取組みの着眼点	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットを介する研修会のライブ配信により、経費の見積もりを試みた。 2. ライブ配信に及ばないが、できるだけ早期にインターネット配信可能なシステムを検討した。 3. 上記1, 2は質問、相談がその場でできないことから、インターネットを介した双方向性のテレビ会議システムの研修会への応用を検討した。 4. いずれもインターネットを使用できる環境であれば、国内、海外からでもアクセス可能であることから、より多くの参加者が期待できる。 	
改善・取組みの概要	<p>福岡産業保健推進センターで実施されている研修会を対象に、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ライブによる Web 配信: ミキサー (Anycast Station, ソニー)、エンコード用コンピュータ、ビデオカメラ 2 台 (講演者および受講者用) を使用した。 2) MPMeisterSlim (リコー) による Web 配信ファイル自動作成ソフト: パワーポイントによる講演をビデオ撮りし、Web コンテンツに自動変換後配信を試みた。 3) 双方向TV会議システム (Vips、キューデンインフィコム) を検討した。 	

写真・図表・
イラスト

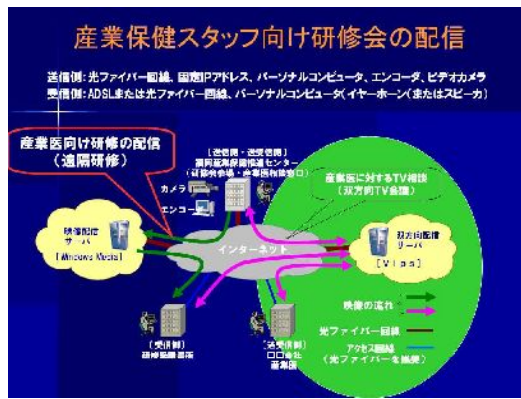


図1. ライブによる Web 配信



図2MPMeisterSlim による Web 配信.

福岡産業保健推進センターホームページより視聴できる。

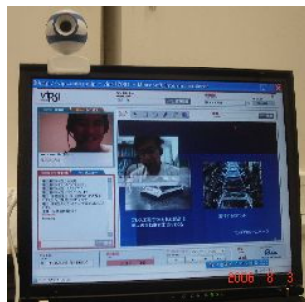


図3. テレビ会議システム(Vips)を利用した研修会配信。このシステムでは、双方向に数名はパワーポイントの資料をみながら、双方向に会話が可能であり、チャットも利用できる。また、登録すれば研修会を受信することのみ可能である。

効果

1) ライブによる配信

研修会場に光ファイバーを導入し、研修会をビデオカメラで撮影した映像をウィンドウズメディアに変換し、1Mbpsで配信。撮影～変換～配信および配信用ホームページ作成には数十万円程度の費用を要した。

2) MPMeisterSlim を用いた研修会の Web 配信

- ① 研修会の映像とパワーポイント資料を同時に収録し、研修会終了後短時間で、Web 配信できることのメリットは大きい。
- ② 必要機器も、家庭用のデジタルビデオ、ラップトップパソコンおよび上記ソフト(約 30 万円)があれば、特別な知識や技術は必要なく、数回の練習で運用が可能である。
- ③ パワーポイント中のタイトルを自動的に抽出し、一覧表示されることから講演内容の聞きたい部分を自由に選択可能である。
- ④ パワーポイント中のアニメーションや動画には対応していなかった。

3) インターネットを活用したテレビ会議システム

パワーポイントの資料を供覧しながら相談者に説明が可能なシステム。資料をお互いに見ながら、また相手の表情も確認できるため、コミュニケーションツールとして優れている。少人数の研修会に活用できる。

この GPS の
経験から学
ぶことができ
るポイント

インターネットを介した研修会の配信は、同様の研修会を複数の場所で開催する場合、経費、講師などの人材を効果的、効率的に活用できる。テレビ会議システムは、少人数の研修会で双方向の会話も可能である。いずれのシステムもハード的に十分使用できるが、普及にはまだ時間が掛かると考える。

参考資料

1. 福岡産業保健推進センターのホームページ <http://www1.bbq.jp/fukuoka-suishin/>

投稿者

織田 進

e-mail

susumuoda@mx6.tiki.ne.jp

2009 年 12 月 10 日